

新しい薬学をめざして

Vol. 52 No.1
2023.1.1

発行 新薬学者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8 E-mail sigma-info@faruma.co.jp
一般社団法人大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463
TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL http://pha.jp/shin-yakugaku/



薬学部教育・薬剤師教育は今 ＜私の履歴と薬学部教育・薬剤師教育＞

鈴木 匡

私の履歴と薬学部教育

私が京都大学薬学部を卒業したのは1981年で、その後大学院へ進学したが、薬剤師免許は運よく卒業時に取得できたため、大学院の5年間は夜間に病院薬剤師のアルバイトを続けた。学部生の頃から病院の調剤補助のアルバイトは行っていたが、免許を取った時から時給が急に上がって嬉しかったのを今でも覚えている。時給は変わっても、ほとんど同じ仕事で、狭い調剤室で薬を調剤して小さな窓から番号を呼んで患者さんに渡す…時間のある時は約束処方の胃薬をせっせと作っていた。その当時の薬学部は（特に京大はそうだったのかもしれないが）処方箋を見て薬を調剤するという実習はほとんどなく、その物質の薬理的な効果は勉強したが個々の医薬品の臨床上の標準的な治療法を学んだ覚えがない。個々の医薬品の臨床での使い方は現場（私の場合はアルバイトの病院）で先輩薬剤師に教えていただいて身に付けてきたように思う。その当時の講義中心の薬学部や大学院の授業は、ほとんど記憶にない。京大在学中にその後の人生で一番役に立ったのは、「研究」の基礎訓練を積ませてもらったことと、シグマという学習サークルで多くの先輩から社会問題や医学、薬学の知識を学んだことである。サークル活動で他大学の学生や先生方と交流したことで視野が広がり、自主的に勉強した薬害や糖尿病などの知識は、その後薬局薬剤師の時だけでなく、大学教員になってからもとても役に立った。自主的にグループで勉強するという今なら当たり前前の学習方法を大学時代から体験できたのは私の宝物である。

国公立大学を私と同じような年代で卒業された方は、製薬企業や公務員あるいは大きな病院

目 次

□薬学教育・薬剤師教育は今 <私の履歴と薬学部教育・薬剤師教育> 鈴木 匡…………… 1	□日本禁煙学会学術総会に関わって 谷口美保子………… 20
□福島いま（その85） 2022年に福島でおこったことが示す今後の課題 佐藤政男…………… 5	□玉枝の平和だよりから（14） 「新型コロナ対策を強化し、府民の命を守るための提言」に寄せて 長瀬文雄…………… 23
□芳香族アミンによる職業がんの損害賠償裁判をめぐる（その8） 堀谷昌彦…………… 11	11・04 カジノは日本のどこにもいらない！国会行動 矢野正之…………… 24
□本来のあるべき未承認薬の「コンパッションネート使用」 早期承認との攻防—英文医学総合ジャーナルでの執筆論文について— 寺岡章雄…………… 15	□編集を受ける側からみた三原さんの妙技 佐藤政男…………… 25